

授業科目名 (英文名)	基礎演習 (Basic Seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1 年次・前期
担当教員	木庭 淳	所属	社会情報科学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的 本演習では、大学生として自主的に学習する態度を身につけ、アカデミック・スキル（思考力、調査力、表現力、発信力など）、社会人力（コミュニケーション能力、対人関係能力、協調性など）を養う。また、進路の選択に向けた意識の向上を図るとともに、将来の研究活動に向けた基本的なスキルを修得する。</p> <p>到達目標 テーマに沿ったデータを自ら収集し扱えること、グループでディスカッションしレポートとしてまとめ発表できることを到達目標とする。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 本演習は、講義目的に従い、大学における学びや学習方法について説明し、その後、一連のデータ分析をグループで行うことを通じて、アカデミック・スキル、社会人力の養成を図る。また、そのための学習環境を整える。さらに、自分の将来について考え、実現に向けて行動できるように、3 回程度のキャリア教育を実施する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．大学における学びについて 2．大学での学習方法 3．文献資料の探索、収集、整理、図書館の使い方 4．学習環境（情報処理環境）の整備 5．ノートPCの使い方 6．キャリア教育 1（働く意味・事例） 7．キャリア教育 2（キャリアパスの中の大学生活） 8．キャリア教育 3（大学院における研究） 9．データの検索、収集 10．データの集計 11．レポート・論文の書き方 12．発表（プレゼンテーション）の仕方 13．ディスカッション、プレゼンテーションの実践 1 14．ディスカッション、プレゼンテーションの実践 2 15．全体のまとめ（演習で学んだことの活かし方） 		
テキスト	適宜指示する。		
参考文献	天野明弘・太田勲・野津隆志編『スタディ・スキル入門』有斐閣。 その他の参考文献は授業の中で指示します。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 大学生としての学びの基礎力を身につけ、グループワークを主体的に行うことができる者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じてSからCまで成績を与える。 発表・議論内容(30%)、グループワーク・ゼミへの参加貢献(40%)、レポート(30%)によって評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>社会情報科学部の必修科目であり、全員受講しなければならない。予習・復習として、与えられた課題や事前調査を行うこと。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場</p>		

	合があり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。
実践的教育	該当しない。
備考	演習ではノートPCを利用する。また、授業の順番は変更になることがある。